

4年 道徳

主題名	よく考えて行動する
中心内容項目	A-3 節度, 節制 いっしょになって、わらっちゃだめだ
令和5年	6月26日 5校時
児童	4年 1組 18名
授業者	齊藤 早苗

1 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値 (教師の価値観)

第3学年及び第4学年「A-3 節度, 節制」は、「自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度ある生活をする」とある。進んで自分の生活を見直し、自分の置かれた状況について思慮深く考えながら自らを節制し、程よい生活をしていくことである。

更に、本教材は、いじめ問題対応教材として位置づけられており、児童一人一人が、いじめに対して自分のこととして受け止め、自分にできることは何かをよく考えて行動することが求められている。してよいことと悪いことをしっかりと見極め、周囲に流されずに自分で考え、自分にできることをしようとする態度を育てたい。

(2) 児童の実態 (児童観)

本学級の児童は、攻撃的な言葉や態度で強く友達に当たる様子はあまり見られず、友達関係のトラブルはほとんどない。しかし、正しいことと知りつつも、自分の弱さに負けて一歩踏み出すことを躊躇してしまったり、正しくないことをしている友達に対して、人間関係を崩さないようにと指摘し合わなかったりする様子が見られる。また、周りの目を気にして、自分の考えとは違った行動をとってしまったりする児童も見られる。

友達との和を大切に、安心できる場にしたいと願う学級の長所に加え、問題に対し自分にできることから行動しようとする気持ちを育てることで、集団としての成長をめざしたい。

【事前アンケート】 (1名 未実施)

内容	結果
いやな「あだな」をつけられたり、からかわれたりしたことはありますか。	ある 7名 ない 10名
その時、どんな気持ちでしたか。	・やめてほしい ・悲しい ・いやな気持ち ・そんないじりやではなかった
あなたは、まわりの友達に流されやすいですか。	ながされやすい 12名 ながされない 5名
どんな時に、まわりに流されてしまいますか。	・みんながもっているものを自分も欲しいと思った ・多くの人か賛成した方に手をあげた ・みんながおもしろいと言うから自分もおもしろいと言った ・みんながふざけるから自分も誰かがおしゃべりをしてるから自分も
どうして流されてしまうと思いますか。	・1人だけだと不安 ・自分だけが変に思われそう ・からかわれそう ・仲間外れにされそう ・自信がない ・がまんできない(ついつられる) ・うらやましくなる

(3) 教材への思い (教材観)

本教材は、ゆうじ君をからかっていることをいじめではないかと指摘された「ぼく」が、自分のいじめに気がつき、自分なりの行動に移すという内容である。「いっしょになってわらう」ということが、いじめのきっかけを作ってしまうことを確認し、「いじめをしない、許さない心」を育てつつ、自分ならどのように行動するのか、自分の考えをしっかりともち、安易に同調しない姿勢の大切さを自覚させたいと考える。

みのる君が、ゆうじ君を「モンキー」とよんでいて、「ぼく」に同意を求めてくる場面で、「ぼく」が黙って教室を出て行った行動について話し合う活動を通し、自分にできることを実践しようとする態度を育てていきたい。

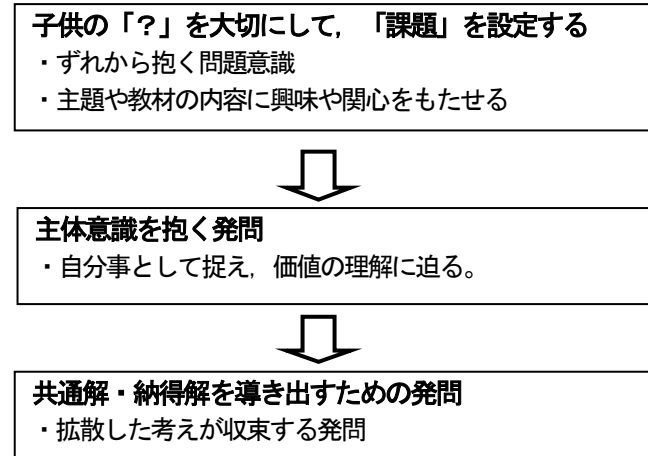
2 総合単元ユニットとの関係

4年生になり、高学年としての活動も始まり、運動会などの行事や委員会活動では、自分の役割を果たすことや、助け合いながら過ごすことの大切さや楽しさを実感することが増えてきた。友達との関わりでは、特に親しい友達を作りたいと考える時期でもある。そのため、小集団内でのいざこざが起きたり、同調意識が高まり自己表現がうまくできなったりする時期でもある。

そこで、1学期の総合単元ユニットの主題を「やってみよう！主体的に行動できる元気なクラスをめざして」とし、ねらいを「色々なことにチャレンジし、楽しい学校生活にしていこうと工夫する態度を養う」と設定した。授業で学んだことを生かし、自分の考えをしっかりともち、主体的に取り組もうとする姿につなげていきたい。

3 研究との関わり

(学びの主体意識をもち、道徳的な問題を自分事として捉え、自己の生き方を考えられるようにする指導の工夫)



4 本時の学習

(1) 本時のねらい

- ・ 「ぼく」の行動について考えることを通して、人に左右されず、自分にできる正しいことをしようとする態度を育てる。

(2) 本時の展開

	活動内容・予想される児童の反応 (○発問 ◎中心発問)	教師の支援・評価・研修との関わり
価値への方向付け	<p>1 ねらいとする道徳的価値に対する興味・関心を高め、「課題」を設定する</p> <p>○自分は、周りに流されやすい方だと思いますか。どんなことで流されたことがありますか。</p> <p>・ みんなが持っている物を自分もほしいと思った。 ・ みんながおしゃべりしていると、つられてしゃべってしまった。 ・ みんなが手をあげた方に自分もあげてしまった。 ○なぜ流されてしまうのでしょうか。</p> <p>・ 自分だけが違う行動をすると変に思われそうだから。 ・ からかわれそう。仲間外れにされそうだから。 ・ 自信がない。不安。 ・ ついつられてしまった。</p> <p>○周りに流されて、いじめのきっかけを作ってしまうことがあると考えたことはありますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>《本時の課題》 いじめのない教室作りについて、考えてみよう。</p> </div>	<p>教師の支援・評価・研修との関わり</p> <p>●支援 ◎研修との関わり</p> <p>●安心感のある雰囲気づくりを行う。 ◎問題意識をもたせ、学びの主体意識を高める。</p> <p>●子供たちが安心して自分の考えを話したり、書いたりできるように傾聴することを大切にする。</p> <p>◎道徳的価値に関わる子供の「？」を大切に課題を設定する。</p> <p>●読みの視点 「ぼくの気持ちを考えながら読もう」</p> <p>●最後の2行は隠した教科書を使用 ◎アンケートの活用 ●場面絵の掲示</p>
	<p>2 教材「いっしょになって、わらっちゃだめだ」を通して、「課題」を追求する</p> <p>○みのるや「ぼく」達の学級は、クラスみんなにとって楽しそうな学級だと思いますか。</p> <p>・ 一部の人間にとっては、楽しい学級。 ・ 心の中で悲しい人がいるから楽しいクラスとはいえない。 ・ いじめがある学級。 ・ 調子に乗って、ふざけすぎたり、つられて笑ってしまったりする雰囲気の学級。</p> <p>○みのるがゆうじに「モンキー」と言っている教室に、自分がいたらどんな気持ちでしょう。</p> <p>・ このままでいいのかなあ。 ・ 1人では助けられない。 ・ ゆうじがかわいそう。 ・ 助けてあげたいけど、注意する勇気がない。 ・ みのるに「言い過ぎだよ」と注意しようと思う。</p> <p>◎「ぼく」が、だまって教室を出て行った行動に、あなたは賛成ですか、反対ですか。</p> <p>(反対) ・ みのるに「からかうのはだめだ」とはっきり言っていないから。 ・ だまって出て行っても気持ちが伝わらないから。 ・ その場から逃げるのはよくないから。</p> <p>(賛成) ・ みんなと一緒に笑わないことが大事だから。 ・ 人に流されない行動だから。 ・ 自分にできることを頑張ってきたから。 ・ みんなに悪いことだと気付いてほしいから。</p> <p>○「ぼく」の行動を見て、反省した人は、みのるだけでしょうか。 ○この後、このクラスは、どうなったと思いますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>《共通解》 よく考え、自分のできる正しいことをすることが大切。</p> </div>	<p>●ゆうじの気持ちに寄り添って考えるとともに、「ぼく」の心の葛藤にも気付かせたい。</p> <p>◎道徳的諸価値に関する理解を深める問い 「中心発問」</p> <p>●ペア交流 (同じ意見同士の交流。違う意見の人のとの交流)</p> <p>●笑っていた人、いじめを見て見ぬふりをしていた人にも目をむけさせたい。 ●「サル」「モンキー」と呼ぶ声は聞かなくなかったことを確認する。 ◎この時間の学びを整理しながら共通解を整理する。(賛成意見からは、人に左右されずに行動するよさ。反対意見からは、多角的視点をもつことのよさに気付かせたい)</p> <p>◎子供たち一人一人が、自分との関わりで、納得解をまとめ、今後の生活につなげていけるようにサポートする。</p>
	<p>3 価値について納得解をまとめる</p> <p>○今日の学習から、学校生活でどんな気持ちを大事にしていきたいですか。</p>	

(3) 本時の評価について

- ・ 人に左右されず、自分にできることをしようとする態度を育てることができたか。(発言や記述)